

HITO NEWS

HITO
MEDICAL
CENTER
NEWS

2017.4

No.14

副院長就任のご挨拶

新任医師紹介

未来創出HITOプロジェクト第2弾

「HITO Bar」開設

胆膵専門外来

外科について

HITO病院で働くこと

TOPICS

明日に向かって



副院長 ご就任の挨拶



副院長(看護・地域包括ケア推進事業担当)

田渕典子

ご縁あって、H I T O 病院で新たな人生をスタートすることになりました。愛媛大学医学部附属病院で38年間、急性期医療に対応する看護に携わってきた。ここ数年は、地域包括ケアシステムを自己の課題として、大学病院における看護の在り方について考え、地域連携の重要性を示し、地域から学ぶことの大切さを伝えてきました。

「理念は、掲げるものではなく実践するもの」を信条としています。これからは、H I T O 病院のコンセプト「いきるを支える」について考え、皆様の同士となり、実現に向けて取り組みたいと思います。地域を知り、地域から学びながら、自らの成長を考えています。今後とも、よろしくお願いいたします。

副院長紹介

田中 伸二



副院長
(外科系・地域担当)
医局長

伊藤 彰



副院長
(内科系・学術担当)
循環器内科部長

小川 晴幾



副院長
(教育・人材育成担当)
婦人科医長

平成29年度入社式

平成29年4月1日(土)、石川ヘルスケアグループ合同入社式を行いました。H I T O 病院には36名(看護部28名、リハビリテーション科3名、事務職5名)、グループ全体では58名(健康会10名、愛美会12名)と、今年もたくさんの方の新入職員を迎えることができました。

いずれ私たちのグループを牽引していただけるような人材に成長してくれることを期待しながら、私たちも若い力に負けないよう、新たな気持ちで地域に根ざした医療に取り組んでまいります。

グループ 合同 入社式



新任医師紹介



福田 高彦

整形外科医長
リハビリテーション科医長
出身大学・卒業年—宮崎大学医学部・平成16年
患者さまにひとこと—やさしく、丁寧な診療を心がけています。お気軽にご相談ください。

専門
分野—
外傷



村上 悠介

整形外科医
出身大学・卒業年—大分大学医学部・平成25年
患者さまにひとこと—みなさまに安心していただけるよう、精進いたします。

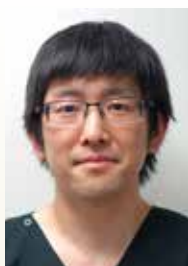
専門
分野—
整形外科



矢作 竜太

初期臨床研修医
出身大学・卒業年—愛媛大学医学部・平成29年
患者さまにひとこと—一人ひとりに寄り添い、信頼される医療を目指します!

専門
分野—
外科一般



久米 達彦

出身大学・卒業年—愛媛大学医学部・平成27年
モットー—継続は力なり
患者さまにひとこと—元気溢れています。よろしくお願いいたします!

内科医師

鈴木 快

内科の検査を主として
従事されます。

内科医師

松井 崇矩

内科の検査を主として
従事されます。

内科医師

谷内田 達夫

内科の検査を主として
従事されます。

内科医師

今村 良樹

健診業務を主として
従事されます。

麻酔科医師

里見 志帆

麻酔科医師として
従事されます。

脳神経外科医師

西川 真弘

愛媛大学大学院医学系研究科
地域医療再生学講座サテライト
センター 脳神経外科医師として
従事されます。

未来創出
HITOプロジェクト 第2段
HITO Bar 開設



当院が推奨する健康促進や予防のためのスマートフォン（※対象 OS : iOS、Android）
アプリのインストール・設定・使用方法をサポート

愛媛県災害情報システムへの登録など
スマートフォンを活用した取り組みへの支援

血圧計や血糖測定器などのヘルスケアデバイスとアプリケーションを
利用して、スマートフォンを連携させて使えるようにサポート

スマホでお手軽簡単に、ご自身の
ヘルスケア情報を管理してみませんか!?

開設の目的

当院では「未来創出HITOプロジェクト」にて、ICTのヘルスケア活用を推進しております。今回、厚生労働省の提言する『保健医療2035』にて謳われている「ICTを活用した個人の健康管理促進」の一環として、患者さまがご自身の健康データをICTを活用してご自身で管理するお手伝いをさせていただくことを目的に、さる4月25日に外来総合カウンター横に「HITO Bar」を開設いたしました。

「HITO Bar」でできること

昨今はスマートフォンの普及により、ICTを活用した個人の健康管理が大変身近になってきました。「HITO Bar」では、当院が推奨する健康管理のスマホアプリと機器をご紹介します。ご希望があればアプリのインストールや設定、機器との接続を行ったり、活用方法をご説明いたします。具体的には左ページにてご紹介している、

血圧計や血糖測定器などのヘルスケアデバイスとスマートフォンを連携させることにより煩わしい結果の記録作業が不要になるとともに、検査結果がグラフで可視化されるようになります。

左ページのグラフは可視化の一例です。血圧計アプリでは、最高血圧・最低血圧と脈拍のデータが時系列に可視化されます。また、血糖測定器アプリでは、上部が体重、下部の折れ線が血糖値。縦棒が歩数計となり、体重・血糖値・運動量が時系列で可視化されます。

このように、日々の測定結果をデータとして自動的に取り込み、可視化すると、ご自身の健康状態を把握しやすくなるとともに、管理にも励みが出てくると思いませんか？

「HITO Bar」では、その他にも愛媛県災害情報システムへの登録のお手伝いなどスマートフォン活用の取組支援も行う予定です。スマホをもっと便利に活用したい、ご自身の健康管理に活かしたい、こういったニーズに応えて参りたいと思いますので、ご興味のある方はぜひお気軽にお立ち寄りください。

ヘルスケアデバイスとスマートフォンの
連携と活用をお手伝い致します! ※

オムロンヘルスケア株式会社 上腕式血圧計

オムロンヘルスケア株式会社の上腕式血圧計には、スマートフォン用の無料アプリ「OMRON connect（オムロンコネクト）」にデータを転送できる機器があります。データを転送することで、測定した毎日の血圧データをグラフで確認できるため、高血圧等で通院されている方は、そのデータをかかりつけ医に見てもらい、診察に活かすことができます。

アークレイ株式会社 血糖測定器

アークレイ株式会社の血糖測定器では、スマートフォン用糖尿病管理アプリ「Smart-e-SMBG」と連携することができ、血糖値の変動や食事、運動、服薬、体温、血圧などのデータを記録・グラフ化することができるため、日々の生活習慣が確認できます。



※(当院推奨製品)

胆たん膵すい専門外来



消化器内科医長
健診センター
おおみや くみ こ
大宮 久美子

胆膵専門外来について

胆膵専門外来では、胆のう・胆管や膵臓の検査を行います。

健康診断で胆石や胆嚢ポリープ、膵臓の嚢胞を指摘された方、上腹部の痛みや背中への痛み、黄疸、体重減少などの症状のある方は、胆のうや膵臓も検査をお勧めします。

こんなときはぜひ受診を

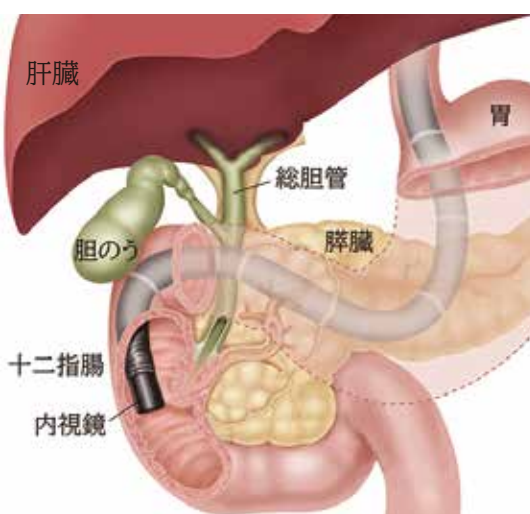
- 腹痛
(主に上腹部痛)
- 吐き気
- 発熱
(炎症がある場合)
- 食欲不振
- 黄疸
- 尿が赤茶色い

胆のう・胆管・膵臓の検査

胆のう・胆管や膵臓の検査は、血液検査や、各種画像検査(腹部エコーやCT、MRI)などを主にしています。

さらに詳しい検査が必要なときに

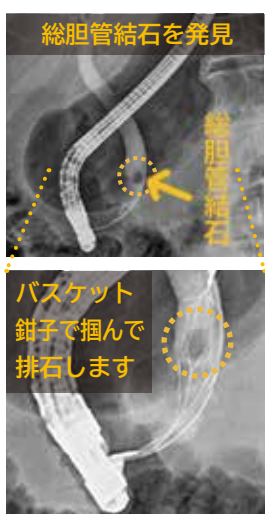
ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)という検査があります。



頭という、膵管や胆管の出口からカテーテルを挿入し、レントゲン写真を撮影します。併せて、膵液や胆汁を採取して細胞を調べることも可能です。

必要な際は、そのまま治療を

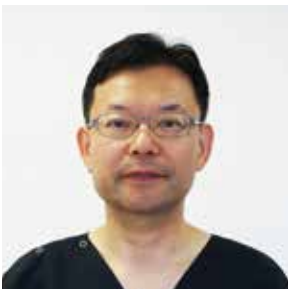
結石を胆管から十二指腸内に排出したり、胆管や膵管の狭くなったところを処置して、胆汁や膵液の流れを良くする処置を行い、黄疸や腹痛をとる治療を行います。



その他、EUS(超音波内視鏡)という検査があり、食道・胃や十二指腸の中から、超音波を当てて、それらの側の臓器(膵臓や胆のう、リンパ節など)を観察します。組織採取を行うことも可能です。

外科

内科と連携し、体に負担の少ない手術を



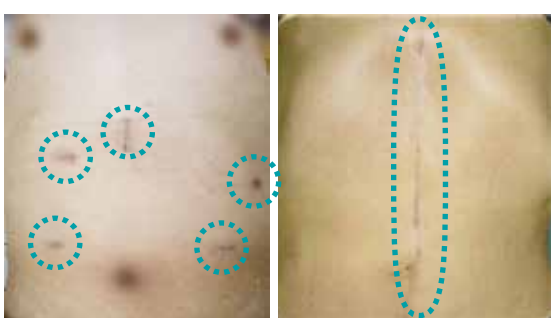
外科・肛門外科部長
消化器外科部長
ゆざわ ひろゆき
湯澤 浩之

外科の体制について

当院外科では、湯澤が消化器一般外科を、佐藤が乳腺内分泌外科を、末廣が下肢静脈瘤を担当しております。手術は外科スタッフが協力し、安全かつ体の負担が少ない手術を行うように心がけています。

内科とのスムーズな連携からだに負担の少ない手術

消化器外科では、内科(特に消化器内科)と迅速に連携し、消化器疾患の治療(手術)をスムーズに行うようにしています。胆石、胃、大腸、肝臓の手術では、腹腔鏡(1cmほどの小さくおなか



腹腔鏡下手術では、術創が5-10mmと小さいため、跡も残りにくくなります。キズが小さいと術後の痛みも小さく、鎮痛剤が要らずにすむこともあります。また、入院期間が開腹手術に比べて短縮され、早期の社会復帰が可能です。

を切った穴から入れることができる細長いカメラ)を使った手術を行うことで、術後の負担軽減に努めています。湯澤が昨年8月に赴任して以来、平均して月に6件以上の腹腔鏡下手術を行っており、幸い手術に関連した合併症が無く推移しています。

ただし、腹腔鏡手術に適さない病気(胆管癌や膵臓癌、進行した大きな癌など)については、従来の開腹手術(大きくおなかを切って行う手術)で、癌を取り残すことのない手術を心がけています。

総合的ながん治療の体制

また、抗癌化学療法(抗癌剤の治療)の専門医と認定看護師、がんの緩和医療の専門医と認定看護師もいるため、内科診断から外科治療、その後必要であれば、抗がん剤治療、緩和医療といったように、放射線治療以外の消化器がん治療が全てスムーズに行えることも大きな特長です。

良性疾患に限らず、胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆管・膵臓癌などの消化器癌に対しても、全国標準レベルの手術を行っているですので、お気軽にご相談ください。

外科	連携	内科
腹腔鏡下手術 開腹手術		検査・ 内視鏡で できる治療
外科がん薬物療法(化学療法) 専門医・認定看護師・がんチーム		
緩和ケア内科 専門医・臨床心理士・緩和チーム		

毎週月曜日 午後2時~4時
ご予約・お問い合わせは「サポートセンター」へ
電話 0896-129-5320



職員一人ひとりが、いきいきと働くことができるような環境づくり

当院では職員一人ひとりがそれぞれのスタイルに合わせた働き方ができるように、福利厚生や職場環境を整えています。

附属保育所 HITO KIDS

病院に隣接した附属保育所（HITO KIDS）は、24時間保育が可能です。自家給食を提供し、「食育」に力を注いでいます。栄養バランスが取れ、バラエティに富んだメニューとし、出来る限り野菜を多く取り入れる工夫がされています。

出産や子育て

- ・産休&育休希望者 100%取得可能
- ・育児短時間制度あり
- ・子の看護休暇制度あり



当院は、子育てや生活の不安を少しでも解消できるように雇用環境の整備を行うことにより、職員が安心して、充実感を持っていきいきと働くことができる、ワークライフバランスを推進しています。現在、これらに基づく行動計画を策定し、厚生労働省が「子育てサポート企業」に対して認定する「次世代認定マーク（愛称：くるみん）」の取得に向けて取り組んでいます。

また、他職種間のコミュニケーションや季節ごとの行事、ファミリーイベントなどもあり、息抜きやリフレッシュできる環境作りにも配慮しています。

充実した食事メニュー

SORADINING（Hフレストラ）では、職員の夕食が無料バイキング形式で提供されています。また、ランチタイムには、日替わりの様々なメニューの定食や、院内にあるカフェで本格コーヒーを楽しむこともできます。



スタイリッシュな制服

優れた機能性、丈夫さと、優しさが感じられるすっきりとしたデザイン。役割が患者さまから一目で分かるように、職種別に色分けされています。



長期休暇でリフレッシュ

里帰り休暇、HITOいきホリデーなどの長期休暇があります。

在宅テレワークスタイル試験導入

テレワーク（在宅勤務）とは、「ICT（情報通信技術）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方」を言い、「tele=離れた場所で」「work=働く」という意味の造語です。

当院では、この4月より一部の職員に対してテレワークスタイルを試験的に導入し、家庭環境の都合等に合わせた多様な働き方ができる環境を整えています。



平成28年度難病対策地域協議会

平成29年2月23日に、四国中央市保健センターにて「平成28年度難病対策地域協議会」が開催されました。

この協議会は、難病患者とその家族が地域で安心して暮らすことのできる支援体制を整備するために、継続的に開催されているものです。今回は神経難病に対する理解を深めるという趣旨のもと、当院の神経内科医である京楽格（きょうらくらく）いたる（医師が「神経難病疾患の基礎知識」の講演を行いました）。



愛媛大学医学部附属病院と 医療連携に関する協定調印式

平成29年3月3日、HITO病院は、愛媛大学医学部附属病院と、医師・看護師や医療技術者らの相互派遣などに関する協定を締結しました。

この協定により、相互の医療水準をさらに高め、職員の教育や資質向上につなげることによって、地域のニーズに応じた医療の提供に努めていきたいと思えます。



愛媛県在宅医療普及推進事業 宇摩地域医療フォーラム2017

平成29年3月5日「宇摩地域医療フォーラム2017」が開催されました。

地域医療フォーラムは、地域住民に「かかりつけ医と機能分化」の役割を理解していただき、医療機関の適正利用の促進を啓発するとともに、地域住民・医療・行政が地域医療について共に考える場にしたという趣旨で開催いたしました。

当日は150名を超える皆様にご出席いただき、パネリストの皆様や会場から活発な意見が飛び交いました。四国中央市の地域医療を守るために、それぞれの立場で何ができるのかを考えていただく機会になりました。



第14回 石川ヘルスケアグループ学会

平成29年3月18日に、石川ヘルスケアグループ学会が開催されました。

「石川ヘルスケアグループ学会」は、職種間・グループ間の業務の相互理解を深めること、職員の研究取組の意識の向上、業務の活性化に繋げることを目的に、毎年行われています。

今年は「住み慣れたこの地域で自分らしく生活するために石川ヘルスケアグループができること」をテーマに、各部署の取り組みを発表しました。また、「地域包括ケアを実現すべく、医療介護連携を考える」をテーマにした多職種によるシンポジウムでは、現場の意見を振り返り、今後の課題等について議論しました。今後は、この会で学んだ事をそれぞれの業務の中で活かしていきたいと思えます。



平成29年度 石川ヘルスケアグループ入社式



平成29年4月1日、石川ヘルスケアグループの入社式が行われました。

今年も、HITO病院36名、愛美会12名、健康会10名、総じて58名の新入職員が石川ヘルスケアグループに入職しました。配属先での研修を通して医療の現場で働くための心構えを身につけ、各々の部署で活躍してくれることを楽しみにしています。

第2回 HITO病院レクバレー大会

平成29年1月14日、第2回HITO病院レクバレー大会を開催しました！

参加人数は昨年より多く、全15チーム、総勢130名での開催となりました。

HITO病院2度目の開催とあって、前回の経験を生かし作戦を練って臨むチームもあり、一層団結力の高まる大会になりました。寒波が押し寄せ雪がちらつくほど寒い中での開催となりましたが、会場は闘志と熱気にあふれていました。





HITO病院
Official Site

美容外科Be
Facebook

※社会医療法人とは、公的機関に準ずる機関で、
営利を目的としない公益性の高い医療法人の事です。



HITO 病院

※
社会医療法人石川記念会 HITO病院

〒799-0121 愛媛県四国中央市上分町788番地1

TEL:0896-58-2222 FAX:0896-58-2223 URL:hito-medical.jp